

9期生Dチーム キックオフイベント 「空き家で夢創造」フォーラム 開催

開催日:平成 27 年 4 月 11 日(日) 場所:社会起業大学九州校

- Dチームは北九州市の空き家問題を課題として取り上げ、空き家をアートやコミュニティの場として活用できないかという視点でプロジェクトを実施してきましたが、実際に実現するには課題が多くある事に直面しました。貸し手と借り手の間に想いや価値観の違いがあるという事です。この問題を解決するにはプロジェクトメンバーばかりでなく当事者や行政を交えて現状分析や意見交換をし、問題解決の糸口を参加者の皆さんと共に考えて知恵を出し合っていくためにフォーラムを開催致しました。
- 4月11日社会起業大学九州校で、28名の方々にご参加頂きました。まず始めにDチームがこのテーマに行き着いたプロセスを紹介し、その後北九州市の空き家対策の現状や空き家バンク等の取り組みについて大関達也北九州市建築都市局長にプレゼンテーションをして頂き、続いて夢追塾1期生でもある田代旦治さんより不動産業者として、空き家の管理を高齢者のグループで出来ないかという提案をして頂き、最後にDチームの石橋孝三さんからは実践者の立場から枝光アイアンシアターの活動を中心に地域の活動報告をして頂きました。
- 休憩を挟んで山口典浩をファシリテーターとし、大関局長、田代さん、石橋さんを交えての鼎談で、それぞれのプレゼンテーションを受けての感想や、これからの課題などが議論され空き家バンクなどの行政の活動をどう活性化していくのか、貸し手と借り手の情報の非対称性をどう解決していくのか、アイデアはいいのだけれど誰がどのように実践に移していくのか、また9期生の他のチームとの共通項に関して連携は出来ないのか、参加者の皆さんも交えて活発な意見交換がされました。今後実際にどのようにこのテーマに取り組んでゆくのかにはいたりませんでした。問題提起や課題が明確になった実りのあるフォーラムでした。

報告: 9期生Dチームリーダー 山口典浩



いよいよフォーラム開始です



Dチームのプロセスを紹介



大関建築都市局長のプレゼンテーション



田代さんのプレゼンテーション



石橋さんのプレゼンテーション



3名のプレゼンターを交えての鼎談



参加者の皆さんとの活発な意見交換